

G7 倉敷労働雇用大臣会合開催記念 「働くあなたを食で応援」プロジェクト !!参加学生募集!!

1921年、大原孫三郎は、日本で初めて、労働者の安全・衛生・健康のための機関「倉敷労働科学研究所（現・大原記念労働科学研究所）」を開設しました。そこで、働く人々の主食代用食として開発されたのが「倉敷労研饅頭」です。

様々な職種、働き方がある現代において、もし、主食代用食やサポート食を開発するとしたら、どんなものが考えられるでしょうか。

G7 倉敷労働雇用大臣会合が開催されることを記念して、次世代を担う学生の皆さんを対象に、労働雇用の探究学習と令和版・主食代用食の開発の取り組みを支援します。

あなたの自由な発想で、働く大人たちを応援してみませんか！

支援対象

・倉敷市内在住もしくは市内の高校、専門学校、
大学に通学する学生（1グループ3名以上で構成すること）

支援金額

5 万円

支援内容

- ①労働雇用に関する探究学習
👉 大原記念労働科学研究所の支援あり
- ②令和版・主食代用食のレシピ開発



募集期間

令和5年1月11日（水）～ 令和5年 **1月31日**（火）
（活動期間 ～3月10日（金））

成果発表会

令和5年 **3月30日**（木）PM

- 👉 会場：倉敷市民会館
- 👉 労働雇用に関するシンポジウム内で開催予定
- 👉 基調講演は、旭化成株式会社名誉フェロー吉野彰氏（ノーベル化学賞受賞者）

その他

- ・申請書は倉敷市HPよりダウンロード願います。
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/2023summit/>
- ・申込多数の場合、事務局にて参加グループを選考する場合があります。
- ・開発したレシピの保護を目的に、商標登録や意匠登録の申請、レシピ本等の作成を行うことは問題ありません。